

《7》 ツユクサ(露草) ツユクサ科

梅雨本番なので、今回は梅雨にちなんだ花です。

どこの道端でもみかけるので馬鹿にする向きも多いが、大変贅沢でおしゃれな花である。

2枚の美しい花びらは清んだ青色を呈しており、恐れ多いのは、6本ある雄しべのうち役に立つのは前に突き出している2本だけで、あとの4本は完全に装飾品であることだ。この小さい黄色のアクセサリーと、青い花びらとの組み合わせかたはまったく心憎いばかりである。

花は一日でおれる。和名は、露を帯びた草の意味で、古

くは(つきくさ)といい、摺り染めや青花紙に用いた。

露草の瑠璃をとばしむ録試し (吉岡禅寺洞)

